

星槎大学大学院 講座 ヒトの行動も測れるのだ！

～行動分析学の方法論～



私たちは日常生活の中で、あるいは業務として、ものの大きさ、重さ、時間の長さをはかることはよくある。ものだけではなく、自分の身長や体重、血圧、血糖値、視力や聴力も測る。同じように、実はヒトの行動を測ることもできる。社会の問題や個人の悩みは、実は行動の問題と関連していることが多く、行動を変えることで問題解決が導かれる。この時、行動を「見える化」すること、すなわち、行動を観察、測定、記録することが解決の要諦になる。教育、医療、看護、福祉、リハビリテーション、ビジネスなど、様々な領域の行動の問題を解決するために行動の測定に焦点を当ててみましょう。

講師

星槎大学大学院 教育学研究科 教授 **杉山尚子**

慶應義塾大学大学院社会学研究科心理学専攻博士課程修了。日本行動科学学会運営委員。元日本行動分析学会常任理事。元日本動物看護学会副理事長。専門は行動分析学。主要著書：『行動分析学入門』（共著；産業図書）、『行動分析学入門—ヒトの行動の思いがけない理由』（集英社）、『行動分析学マネジメント—人と組織を変える方法論』（共著；日本経済新聞出版社）、『看護学生のための心理学』（共著；医学書院）。

日時 2017年11月23日(木) 16:00～18:00

費用 無料

自宅からも参加可能！

※PC・タブレットが必要です。

場所 星槎大学大学院

神奈川県横浜市中区日本大通11

横浜情報文化センター5F

(みなとみらい線日本大通駅下車3番出口徒歩0分)

駅の真上の建物が会場です。



参加をご希望の方は下記よりお申込みください。

TEL 045-212-3830

Mail info_gr@seisa.ac.jp

※受付時間：9:00～17:00

星槎大学大学院 教育学研究科 教育実践研究科

